

スマホ用アプリ・eラーニングで応急手当の裾野を拡大 ～応急手当短時間講習普及促進研究事業～

宮城県 仙台市消防局

はじめに

仙台市では、平成25年4月1日現在、6署3分署12出張所1救急ステーションに24隊の救急隊（うち1隊は高度処置救急隊（ドクターカー））を配置しており、平成24年中における救急業務の実施状況（速報値）は、救急出場件数45,226件、搬送人員38,687人となっています。



研究事業参画の背景

本市における救急出場件数は、平成13年に初めて3万件を突破し、その後、3万件台後半を推移していましたが、平成22年には4万件を突破、平成23年には東日本大震災の影響もあって過去最高の46,394件（前年比10.3%増）となりました。また、救急出場件数の増加に伴い、119番通報から救急隊が現場に到着するまでの時間も延伸傾向が続いていました。このような状況では、バイスタンダー（現場に居合わせた人）による応急

手当がより一層重要性を増すことは言うまでもありません。本市におけるバイスタンダーの応急手当実施率は41.8%（平成22年）と全国平均（42.7%）と同水準ではあったものの、救命率のさらなる向上を図るためには、質の向上を含め、バイスタンダーによる応急手当の実施をよ

り推進していく必要がありました。

一方、本市では、年間2万人の受講を目標に掲げ救命講習を開催するなど、応急手当の普及啓発に努めてきましたが、救命講習の受講者数は平成20年の約2万6千人をピークに減少を続けており、その理由の一つとして「3時間の講習時間の確保が難しい」との声が寄せられるなど、市民のニーズに合わせた受講しやすい環境の整備が課題となっていました。

そこで、「JRCガイドライン2010」の公表、総務省消防庁の「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」の改正を受け、平成24年3月に本市の「応急手当の普及啓発活動に関する実施要綱」を見直すとともに、より多くの市民が応急手当を学びやすい環境を実現するため、消防庁の「応急手当短時間講習普及促進研究事業」に参画し、普及が著しいスマートフォン用のアプリケーション（以下、「アプリ」という。）とインターネットによるeラーニングシステムの開発、さらには東日本大震災の被災地として、今後の地域防災を担う中学生を対象とした救命入門コースの実施など、本市の実情に即した新たな応急手当普及啓発活動を推進していくこととしました。

応急手当アプリ「救命ナビ」

「いつでもどこでも気軽に応急手当について学べ、緊急時にも使える」をコンセプトに、スマートフォンで使用するアプリ「救命ナビ」を開発し、平成25年2月12日（火）から公開しました。救命ナビの「応急手当を学ぶ機能」では、応急手当の手順やポイントを動画やナレー



スマートフォン用アプリケーション「救命ナビ」

AEDマップ

ションで詳しく紹介していますので、過去に救命講習を受講した方のみならず、はじめて応急手当を学ぶ方にも分かりやすいものとなっています。また、救命ナビには、全国のAEDの設置場所を確認できる機能や身近に起こりうるけが等への対処方法、さらには「いざ」という時に動画とナレーションで「119番通報」と「心肺蘇生法」の一連の流れを的確に誘導する緊急時の「救命ナビゲート機能」も付いています。このナビゲート機能は、救急隊が到着するまでの間にバイスタンダーが実施すべきことを、簡単な操作で分かりやすく誘導するもので、電波の届かない場所でも使用できるなど実践的な機能となっています。

応急手当WEB講習

救命ナビに合わせ、普通救命講習の事前学習や復習用として使えるeラーニング用のホームページ「応急手当WEB講習」も公開しました。eラーニングシステムにつきましても、全国の消防本部が導入できるよう消防庁がプログラムの配布を行ったところですが、ホームページとアプリを、内容的、デザイン的に連携させることで、より分かりやすく、理解しやすいものになるなどの相乗効果を期待して、本市独自のeラーニングシステムの開発に取り組みました。また、東日本大震災の被災地として、ホームページ内に震災の経験・教訓を踏まえた内容を盛り込むことにより、市民に応急手当の習得など日頃からの備えの重要性について、さらに理解を深めてもらうことも期待しています。

なお、全国の消防本部で導入が進みつつあるeラーニング同様に、このホームページで事前学習を行うことによって、例えば成人に対する心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法について学ぶ最も基本的なコースである普通救命講習Ⅰの講習時間が、通常の3時間から2時間に短縮となり、これまで時間的制約等によって救命講習に参加できなかった方も参加しやすくなりました。



パソコン、タブレット端末、スマートフォンで利用可能

動画の視聴により学習

eラーニング用ホームページ「応急手当WEB講習」

○アプリ・ホームページのご紹介 <http://www.sendai119.jp/>

○救命ナビのダウンロード方法

iPhoneの場合は「App Store」、Android端末の場合は「Google play」からダウンロードできます。下記のQRコードを読み取るか、スマートフォンのアプリ提供ストアで「救命ナビ」で検索してください。



「App Store」



「Google play」

○利用料 アプリ・ホームページともに無料

(※スマートフォン、インターネット等の契約状況によっては、利用に際して別途通信料が必要となる場合があります。)

おわりに

応急手当の裾野を広げていくには、これまであまり応急手当に興味・関心がなかった方々を取り込むことや、救命講習受講の障害となっていた時間的な拘束を緩和するなど受講しやすい環境を作ることが効果的であると思われます。今回のアプリとeラーニングシステムの開発は、応急手当に関する市民等の興味・関心の向上、並びに受講しやすい環境の実現を狙ったもので、特にアプリに関しては、スマートフォンに慣れ親しんでいる若い世代が興味を示してくれることを期待しています。また、実際の救急現場では、多くの方が応急手当を実施することに躊躇したり、不安を感じたりするので、アプリの救命ナビゲート機能がこれらを軽減し、より多くの方が勇気を持って応急手当にチャレンジしてくれることも期待しています。

仙台市としては、このアプリとeラーニングシステムによって、応急手当の裾野を拡大するとともに、多くの

救急現場でバイスタンダーによる応急手当が的確に実施され、救命率の向上に繋がるよう今後も応急手当の普及啓発に努めていきます。